

会 議 録		令和 4 年10月31日作成	令和 8 年 3 月末日廃棄
会議名	京都府伏見警察署協議会（令和 4 年度第 2 回）		
開催日	令和 4 年 9 月 28 日（水曜日）		
時 間	午前10時40分から午後 0 時50分までの間（ 130分）		
場 所	京都府伏見警察署 道場		
出席者	小島会長、服部委員、早野委員、内藤委員、奥田委員、長尾委員 廣瀬委員、橋本委員、黒川委員、田原委員、寺内委員 （欠席 森口副会長、ブラドリー委員） 計11人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長 交通課長、警備課長、広聴相談係長 計10人		
諮 問 事 項	1 術科訓練の重要性について 2 捜査を支える鑑識活動の重要性について 3 各課業務の見学と推進状況について		
会 議 内 容	1 会長挨拶 司会 会長 2 署長挨拶 3 新規委嘱協議会員自己紹介 4 協議 (1) 諮問事項説明 術科訓練の重要性について～警務課長 【委員】他の役所がない施設は留置施設と道場である。実際、柔道、剣道を見学させてもらい、日夜、治安維持に奔走する警察官にとって、術科の重要性は計り知れないものと認識が深まった。術科訓練が警察官にもたらす効果などを具体的に回答願いたい。 【警察】術科訓練は警察官にとって不可欠で、その理由は大きく 2 つあると考える。1 つには、訓練によって心身を鍛える。暴れる被疑者、向かってくる不良徒輩を制圧できる技術と強靱な体力を磨き、あらゆる困難にもくじけない心を鍛えること。2 つには、署の一体感をつくるということ。他課・係の者と一緒に汗を流し、試合という共通の目標に向かって切磋琢磨することにより、 300名を越える署員に一体感、連		

会 議
内 容

帯感が生まれる。武道訓練で他課の上司・先輩に顔を覚えてもらい、武道訓練を通じて多くの署員を知ることができる。また、訓練に一生懸命に取り組む姿には誰もが好感を受け、相互の信頼醸成につながる。

令和2年7月、府内でも、警察官が刃物所持の男に襲われ滅多刺しに遭う事件があった。幸い命に別状はなかったものの、府民を守る警察官が受傷しないために、強靱な体力と精神を養う術科訓練は非常に重要である。コロナ禍ではあるが、当署では感染防止対策を図り、夏期武道訓練を実施し有事に即応できる体制保持を図っている。

【委員】警察業務の大変さが改めて分かった。厳しい仕事で体や精神を崩す職員がいた場合の防止対策などを説明願いたい。

【警察】カウンセリング制度などがあり、きめ細やかな対応と、悪化させないサポート体制により対応している。

(2) 諮問事項説明

捜査を支える鑑識活動の重要性について～警務課長

【委員】テレビドラマでしか見たことのない鑑識活動を体験し、緻密な活動によって捜査がすすめられていることに理解が深まったが、鑑識活動が捜査にどのように生かされているのかを説明願いたい。

【警察】鑑識活動は根気の要る緻密な作業の積み重ねであり、事件と犯人との結びつきを客観的証拠により裏付けるなど、煙草の吸い殻から容疑者を割り出し、捜査を大きく進展させることもできる非常に重要な業務である。

(3) 諮問事項説明

各課業務の見学と推進状況について～署長

【委員】110番通報した場合、タイムリーに警察署へ共有されているのかを説明願いたい。

【警察】110番通報のシステムは、通信指令課からリアルタイムに通報内容などが管轄する警察署に共有されるものであり、迅速な対応が可能となっている。

【委員】変死事案の対応状況について説明願いたい。

【警察】事件性に配慮しつつ、警察医のもとで検死を実施して、死因を特定する。犯罪の可能性がある場合などは、大学病院において解剖を実施する場合もある。

(3) その他

【委員】前回、交通安全啓発グッズとして、歩行者等にドライバーとのアイコンタクトを推奨するポスターの提供を受けた。早速、掲示板などに掲出し活用したお陰で、アイコンタクトを励行している声を聞くようになり、交通安全啓発推進の機運醸成を認める。

会議 内容	5 事務連絡 令和4年度第3回伏見警察署協議会の開催は、令和4年12月中旬に実施 予定である。 以上
----------	---

第2回京都府伏見警察署協議会の開催状況

